

令和元年度「朝河貫一博士から学ぶ ふくしまの未来 講演会」実施報告

「朝河貫一が文通したアメリカ人の女性たち～福島県立図書館所蔵の書簡から～」

講師：甚野 尚志 氏（早稲田大学文学学術院教授）

開催日：令和元年 7 月 14 日（日） 14：00～15：30

参加人数：62 名 会場：福島県立図書館 講堂

福島県出身の国際的な歴史学者、朝河貫一について講演していただきました。二本松で生まれ、アメリカへ渡った朝河の生涯と研究について追いながら、残された書簡から読み取れる交流の様子などをお話いただきました。



当館が所蔵する朝河貫一資料や、アメリカのイェール大学図書館に保管されている「Asakawa Papers」から、今回は特に、マーガレット・ダイヤモンドやグレッチェン・ウォレン、アリス・ヴァンダービルト・モリスといった、アメリカ人の女性たちと交わした書簡を中心にとりあげ、解説していただきました。朝河は裕福な知識層の女性たちと書簡をやりとりしており、文通を通じて自らの生活や研究、日本の状況、政治的理想などを述べていたということ

です。国際協調と世界平和こそが人類の永遠のテーマであると生涯訴えた朝河貫一の姿勢を改めて感じました。

参加者アンケートでは「今までに知りえなかったことが分かり、参考になった」「丁寧に研究されてきたことがよくわかる」「ポイントを絞った内容で興味深かった」といった感想をいただきました。

※講演会に合わせて、令和元年 7 月 5 日(金)～7 月 31 日(水)にかけて、関連する書簡や図書の展示を行いました。



(地域資料チーム 板津恵子)